

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 ご報告書
2010年8月20日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージや当社社員のコラムをお届けいたします。

8月の中間運用報告

8月前半の株式市場は7月の流れをそのまま引き継いでおり、世界的にじり安の展開を示しています。特に欧州・米国における景気のスローダウンは「景気後退のおそれ」という状況から「景気後退」へと移行しつつあり、株式市場の目の先安観は高まっています。また、為替市場はユーロ安・ドル安の進行により日本の円が相対的にしっかりしている状況が続いています。8月20日未明には円ドルレートが一時84円台へ突入し、今後の先高感が強まっています。

日本においては第一四半期の決算がほぼ出そろい、予想以上に良い内容が発表されました。しかしそのような好調な決算にもかかわらず日本の株式市場は不調であり、むしろ好決算発表後に売りが出て下落する銘柄も多く見られます。このような環境の中で、ひふみ投信では円高メリットを受けるような内需企業、円安メリットを受けるような外需企業を50:50の割合で保有するようにして、為替相場の影響を受けにくいようなポートフォリオを作っています。ただ、円高が進行すればするほど、外需企業の株価は大きく下落する可能性が高まります。その場合には、必要以上に大きく株価が下落した外需企業に対して追加的に投資をして行くことを考えています。それは、円高が行き過ぎた場合には、どこかで高値のピークをつけて反転、つまり円安に転じる可能性があるからです。今は、円高になり株価が下がるほど輸出関連企業(外需型企業)に投資する好チャンスがあると考えています。そのような機会をとらえて、よりひふみ投信の基準価格が上昇するように努力して参りたいと考えております。
(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

ひふみのはてな

お客様より頂いたご質問などを紹介します

8月10日に毎月恒例の「ひふみアカデミー」を開催しました。暑い中、またお勤め帰りのところ足を運んでくださったお客様に心より御礼申し上げます。お客様からは個別の組入銘柄について選択経緯などをご質問をいただき、運用責任者や同席したアナリストが熱くお話をいたしました。当日の質疑応答より、7月より組入れを開始した2銘柄に関する話をご紹介します。

その1: 静岡銀行 (8355)

4月以降金融株の組入れをしていませんでしたが、今後、株式市場が反転するきっかけを考えたときに、そのひとつに、世界的に信用不安が後退して金融株が上昇するというシナリオが描けると考えました。もしこのような展開になった際、金融株に対して投資していなければ相場の上昇についていけない可能性があります。金融株の中で色々と比較検討をし、財務内容がよく、売られすぎで株価の下落率が高く、かつPERの水準が歴史的割安になっている静岡銀行を選んで投資しました。

その2: ナカニシ (7716)

ナカニシは歯科用ドリルの大手で、世界シェアの高い企業です。足元の業績は好調で、ユーロ安にもかかわらず欧州向けの売上高も増加させています。日本においては少子高齢化の影響で歯医者にかかる人口が増えると予想していると同時に、ホワイトニングのような美容に関わる分野でも需要が増えてくると考えています。また今後経済規模が拡大するアジア諸国においては、甘味食品などの消費量も増えることにも虫歯になる人や、家計の改善により歯医者に通える人が増えてくることが見込まれ、長期的な視点で成長が期待できます。景気変動の影響を受けにくいユニークな企業なので、ひふみ投信のコンセプトに合う企業として投資をし始めました。

ひふみアカデミーは一部を動画配信しています。こちらもどうぞご覧ください → <http://www.ustream.tv/recorded/8837339>

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみのむしめがね

当社の運用チームは、有望な投資先を探すために、日々調査活動を行ない、「見えないモノを見る力」の向上を目指しています。その中で注目した「事象」についてピックアップし、メンバーが月替りでお伝えいたします。

生活コストの高い都市

2010年、世界で最も生活コストの高い都市に東京が返り咲いてしまったそうです。ノルウェーのオスロ、アンゴラ共和国のルアンダに続き名古屋、横浜など日本の複数都市が上位にランクされています。

ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、この調査はアメリカの人材コンサルタント会社であるECAインターナショナルが、食品、衣服、電気製品、エンターテインメントなど128の項目の価格を調査して指数化した生活費を順位付けしたものです。家賃、電力・ガスなどの公共料金、学費などは除かれています。為替の影響が大きく、為替の強かった国、地域、都市が上位にくるようです。この調査は毎年3月と9月に実施されています。今年3月の調査結果によるランキングは以下のとおりです。

【世界】

| | | |
|-----|---------|-------|
| 1位 | 東京 | 日本 |
| 2位 | オスロ | ノルウェー |
| 3位 | ルアンダ | アンゴラ |
| 4位 | 名古屋 | 日本 |
| 5位 | 横浜 | 日本 |
| 6位 | スタバンゲル | ノルウェー |
| 7位 | 神戸 | 日本 |
| 8位 | コペンハーゲン | デンマーク |
| 9位 | ジュネーブ | スイス |
| 10位 | チューリッヒ | スイス |

【アジア】

| | | |
|-----|--------|--------|
| 1位 | 東京 | 日本 |
| 2位 | 名古屋 | 日本 |
| 3位 | 横浜 | 日本 |
| 4位 | 神戸 | 日本 |
| 5位 | ソウル | 韓国 |
| 6位 | 香港 | 中国 |
| 7位 | 上海 | 中国 |
| 8位 | 北京 | 中国 |
| 9位 | シンガポール | シンガポール |
| 10位 | 釜山 | 韓国 |



世界のトップ10の中にあるノルウェー南部の港町スタバンゲルは、前回2009年9月の調査では14位でしたが、原油価格の上昇とともにノルウェークローネの価値が上昇したことからトップ10に入り、同様にオスロも前回8位から2位に上昇しています。

最も高い東京で生活するとランチに\$18ドル(約1,530円)、映画鑑賞に\$22(約1,900円)、缶ビール一本買うのに\$3.37(約290円)かかり、オスロではランチが\$43(約3,700円!)、缶ビール一本\$4.71(約400円)、映画鑑賞に\$16(約1,400円)かかるそうです。ちなみに、3位のルアンダはアフリカ南西部に位置するアンゴラ共和国の首都で、石油、ダイヤモンドなど鉱物資源の輸出が経済成長を支えています。ルアンダでランチをすると\$47(約4,000円!!)かかり、映画鑑賞に\$13(約1,100円)、缶ビール一本\$1.62(約140円)です。アンゴラ共和国は27年続いた内戦が2002年に終結し、その後急速な経済発展を遂げています。貧富の差も拡大しているようですが、戦後の日本のように高度経済成長を謳歌している最中です。

日本がトップに帰り咲いてしまったということは、前述の通り為替の影響が強くなり、輸出が経済の牽引役の日本にとってはネガティブな状態が続いているということです。アジア各国の成長力を見ると数年後に日本がトップ10から消えてゆく可能性は大いにあると思いますし、そのようにならなければ今後の国内経済状況はさらに厳しい状況となりそうです。アジア通貨が強くなり、日本円の価値が相対的に低下すれば国内輸出企業の収益が拡大し生活環境は好転します。為替が円安になるとグローバル比較した生活コストも必然的に下がって日本の各都市は上位から転落し、トップ10からも消えてゆくことでしょう。上位から転落するときこそ日本が復活しているときかも知れません。

余談ですが、生活費が高そうなイメージのあるニューヨークは今回48位(前回32位)、ニューヨークの中で富裕層が比較的集中しているマンハッタンでも29位(同18位)でした。日本の政策運営も、もう少しグローバルな視点で行なってもらいたいもので
(レオス・キャピタルワークス(株)運用部)

ひふみのかいぜん

8月23日より、Web上で残高確認ができるようになります

7月末にお手紙でご案内した「ひふみWebサービス」が23日から開始され、今まで多くのお客様からご要望をいただいていたインターネット上での残高確認が実現します。

これまで、お客様がご自身の残高や取引の記録を確認するためには、取引の都度発行される「取引報告書」や3ヶ月に1度発行される「取引残高報告書」の郵便到着を待ってご覧いただくか、平日9～17時にコミュニケーション・センターまでお電話をいただき口頭で照会する方法の何れかに限られておりました。今後、「ひふみWebサービス」をお申込になったお客様は、取引報告書も速やかにパソコン上でご覧になって、時間の制約を受けずにいつでも残高をご覧頂くことができるようになります。

申込がお済みでないお客様におかれましては、ぜひお手紙をご確認いただき、ご利用をご検討ください!

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみアカデミー

ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話しいたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆ 9月7日(火) 19:00 ~ 20:30 動画配信を予定しています。

ひふみサロン

「ゆたかな暮らし」について考える

①くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。毎回、各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。(「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特にいたしません。)

◆ 8月24日(火) 19:00 ~ 20:45

コモンズ投信(株)会長 洪沢健氏と セゾン投信(株)代表取締役社長 中野晴啓氏 をお迎えし、「草食系投資」について熱く語っていただきます!

詳細やお申込はこちら→ http://www.rheos.jp/seminar_info/index_100824.html

残席わずか!

ひふみサロン・アカデミーの開催場所 : レオス・キャピタルワークス セミナールーム

東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27階
JR東京駅 八重洲南口より徒歩3分/東京メトロ 銀座線「京橋駅」より徒歩7分

地図はこちら→ <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

お申込は、当社ホームページ(<http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp>)で受け付けています。

または、コミュニケーション・センターへのお電話(03-6266-0123)やE-mail(cc@rheos.jp)でも承っています。

セミナー開催される際は、お気軽にお声掛けください

より多くのお客様にお会いするため、東京以外の地域にも積極的に出かけております。「ひふみ投信」についてご説明をさせていただけるセミナーや20~30名の方がお集まりになる会合などがございましたら、どうぞコミュニケーション・センターまでご一報をくださいますようお願いいたします。

「運用のプロが教える 草食系投資」出版記念セミナー

ひふみ投信の運用責任者である藤野英人が、コモンズ投信(株)会長の洪沢健氏・セゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏とともに、「ゆっくりコツコツ資産を増やす」名付けて「草食系投資」をお伝えします。

【名古屋】 2010年8月28日(土) 13:30~15:30 中日コンサルティングプラザ セミナールーム 参加費:無料
お問合せ先: 株式会社 保険相談センター
電話: 0120-875-875 URL: <http://www.hoken-sc.com/seminarform100828.php>

9月以降は金沢や仙台にもうかがう予定です。お近くにお住まいのお客様には、ご来場のご検討をお願いいたします。

今後の開催予定は、当社ホームページで随時お知らせいたします。 http://www.rheos.jp/seminar_info/soushokutai.html

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

| | | |
|-------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 当初設定日 | 平成20年10月1日 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 決算 | 毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日) | |
| 収益の分配 | 決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。 | |
| お申込み | お申込単位 | 10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。 |
| | お申込価額 | ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。 |
| | お申込受付日時 | 当社営業日の9時～15時までとなります。 |
| 途中換金 | 途中換金(解約)単位 | 1口以上または1円以上 |
| | 解約価額 | 「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。 |
| | 受付日時 | 当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。 |
| 課税関係 | 収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 | |

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

- ◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません
申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。
- ◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

| | |
|--------|---|
| 信託報酬 | 信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%) |
| 監査費用 | 信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%) |
| その他の費用 | 組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など |

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。